

積水化成品工業株式会社

東京都新宿区西新宿2-7-1 〒163-0727
小田急第一生命ビルTel. 03-3347-9711
ir_pr@sekisuikasei.com

www.sekisuikasei.com

2022年8月26日

積水化成品工業株式会社（本社：大阪市北区西天満2-4-4 社長：柏原正人）とハイケム株式会社（本社：東京都港区虎ノ門1-3-1 社長：高潮）は、このほど、生分解性材料の開発や拡販を相互に協力して推進する戦略的基本提携契約を締結しました。

ハイケム株式会社との提携について 生分解性プラスチックの市場展開を推進

積水化成品は、これまで培ってきた発泡技術や重合技術を活かし、発泡ポリスチレン事業において国内で高いシェアを獲得しています。発泡素材の特長である軽量性・緩衝性から、食品分野、産業資材分野、自動車分野に事業を展開するだけでなく、重合技術を応用した非発泡素材のポリマー微粒子は、光学・液晶・塗料・化粧品分野で添加剤としてグローバルに広く採用されています。

現在、当社は気候変動や海洋ゴミ問題などの地球全体の環境課題に対して、企業活動を通じた取り組み「SKG-5R*」を推進し、2030年までに全製品を構成する原材料の50%以上をリサイクル材料や生分解プラスチックもしくはバイオマス由来プラスチックに置き換えるという目標を掲げています。

ハイケム株式会社は、中国最大のPLA（ポリ乳酸樹脂）メーカー豊原集団と事業戦略パートナーシップ契約を締結するなど、生分解性プラスチックのマーケット開拓にいち早く取り組んでいます。また、PLAだけでなく海洋でも分解できるPHBVなど合計7種類の生分解性プラスチックを販売する体制を構築し、今年4月にはPLAにバイオ由来の化合物を重合して製造するPLAポリオールの取り扱いもスタートさせ、さらにポリウレタン原料のバイオマス化にも注力しています。

今回の提携で、生分解性材料の分野において、当社の樹脂改質技術や長年取り組んできたリサイクル製品の開発力と、ハイケム社の輸入調達・マーケット開拓力を掛け合わせて協働することで、新たな価値創造に取り組み、持続可能な社会の実現への道筋を加速させます。



地球環境への課題解決に向けて、サーキュラーエコノミーへの移行は必要であると認識しています。限りある天然資源の使用量をできる限り削減し、既存の資源を有効活用して社会経済活動を循環するという考えのもと、ソリューションを提案していきます。

取り組みの進捗につきましては、今後ウェブサイトや統合報告書を通じてご報告してまいります。

* SKG-5R：積水化成品グループは、2019年度より持続可能な社会の実現を目指して「SKG-5R STATEMENT」を掲げ、2030年度までに達成する2つの目標（環境貢献製品の創出と拡大、CO₂排出量削減）を設定しています。この達成に向けて、従来から注力している3R（Reduce、Reuse、Recycle）に加え、独自技術による2R（Replace、Re-create）を加えたSKG-5Rを推進しています。